

今日の話題は、柔道。柔道言えば、加納治五郎先生。日本オリンピックの父である。ある時期、先生の考えや言葉を集中して学ぶ機会があったことを思い出す。そのあとが、漫画の柔ちゃんと谷亮子さんと山下泰裕さん▼今日は、そんな柔ちゃんと柔くんが会場に集ってきた。これまでに数回ほどしか道場に顔を出したことはないが、お邪魔するととても礼儀正しく温かく迎えてくれる柔道少年少女▼今日は、いつもとはちょっと違うぞ。いい意味での緊張感が表情に出ている。アップは、どちらかと言えば激しい。筋肉と心臓にかなり負荷をかけ、心と体を極限まで引き上げる。ゾーンに入れるのだ▼子ども達の士気も熱いが、選手層も暑い。階級によっては、同じ学校同士で戦うこともある。まさに切磋琢磨。あるオリンピアが、「気がついたら投げられていました」と言っていたことを思い出した▼「一本」の定義はよくわからないが、試合を見ていて投げ技の「一本勝ち」を見てみると、「気がついたら投げてました」と思うほど反応が早い。日々基本的な練習と研究を積み重ねてきた末のことだ。勝負は駆け引き、一瞬の動きで決まる。それも紙一重だと思う▼少年よ、負けて恥じることはない。少女よ勝って奢ってはいけない。治五郎先生は、こんな言葉を残している。「人に勝つより自分に勝て」あなたは、柔道を通じて素晴らしい経験をしている。